

2022
年度

日本女性薬剤師会 薬剤師継続学習通信教育講座

男女共同参画事業

一般社団法人日本女性薬剤師会 研修講座

継続するほど身につく 医療人としての学びの習慣

コロナ禍における通信教育講座のメリット

- ① 時間を選ばない
- ② 場所を選ばない
- ③ 持ち運びに便利
- ④ わかるまで繰り返し復習できる
- ⑤ 少ない費用で大きな研修単位 1年で15単位
- ⑥ 休職中の医療情報の補完にも

新型コロナウイルス感染症が続く中、医療の高度化・複雑化や少子高齢化社会の急速な進行により、薬局・薬剤師の資質の向上が望まれています。

薬剤師を取り巻く様々な環境の変化を踏まえ、がん患者、小児・妊産婦や高齢者に対する薬物療法の薬学管理・指導を実施するとともに期待される在宅医療にも即応できるよう、必要なスキルを学んでいくためにこの通信教育講座をお薦めします。

従来の学習に新シリーズを追加、
さらに内容が充実します!!

シリーズ1 ポリファーマシーを症例から考える

シリーズ2 医療安全

シリーズ3 高齢者の栄養管理 低栄養・フレイル対策

男女共同参画事業

2022年度 日本女性薬剤師会 薬剤師継続学習通信教育講座

5月開講 1年間に
8冊を学習

第1回 急性・慢性腎不全

(診療ガイドライン2021年改定)

- 見逃せない動悸・息切れ・呼吸困難・むくみ-
- 三大リスク(高血圧・糖尿病・慢性腎臓病)と風邪の管理の重要-

第2回 医療的ケア児の支援

- 薬剤師の在宅医療への参加で、在宅医療が必要な子ども達が元気に暮らすために-

第3回 HPV(ヒトパピローマウイルス)感染症と子宮頸がん

- HPVワクチンの積極的推奨の再開-

第4回 女性のライフステージに寄り添った妊娠前と周産期の服薬コミュニケーションのポイント

第5回 高齢になっても心地よい生活を送るために薬剤師にできること

第6回 頭痛

- 進化する治療と新薬の登場-

第7回 疥癬

- 疥癬はなぜ根絶できないのか 高齢者施設の苦悩-

第8回 新型コロナウイルスのその後を追う



お問合せ

一般社団法人日本女性薬剤師会

事務局 TEL 03-3621-0489
FAX 03-3621-0521

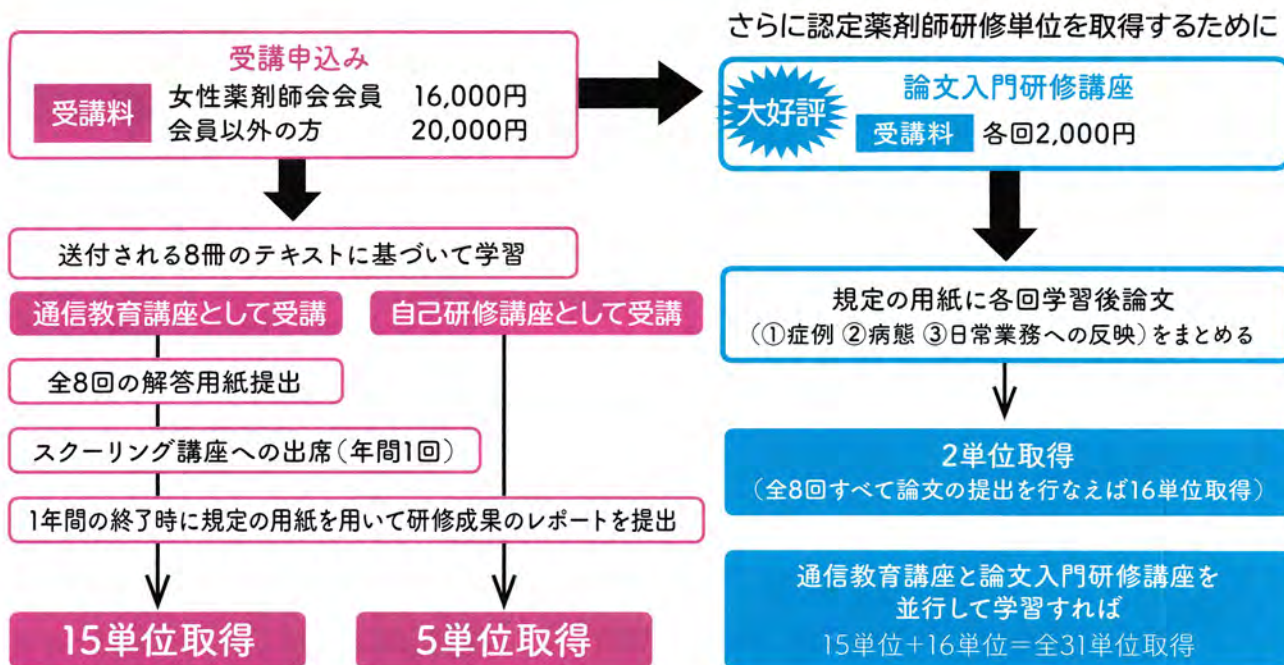
E-mail: jwpa@khh.biglobe.ne.jp

※年1回のスクーリングを受講する。

注)初回テキストの発行は、5月中旬を予定しています。

裏面もご覧ください ➡

受講申し込み～単位取得までの流れ



- 医学部・薬学部教授の監修によりテキストを作成!
- 「演習問題」の解答を添削してお返しする双方向性の学習形態!
- 日本女性薬剤師会認定薬剤師研修制度により「通信講座研修単位」15単位を毎年取得!
- さらに論文入門研修講座の受講で各单元について2単位取得!(受講料別途)



募集要項

募集対象者 男女を問わず、全国の薬剤師
応募方法 各都道府県女性薬剤師会または女性部会
女性薬剤師会が組織化されていない県の方は、本部事務局へ

募集締切 ～2022年4月末(第一次募集)
受講料 女性薬剤師会会員 16,000円 会員以外 20,000円

講座のシステム

受講期間 2022年5月～2023年3月
学習内容 ①年間送付される8冊のテキストに基づいて学習
②1冊学習後、演習問題(マークセンテンス法)に解答し郵送(添削後返送)
③スクーリング講座への出席(年1回)※受講料別途
スクーリングが開催されない県や離島、僻地などの方々は、事務局へご相談ください。(別途救済措置有り)
④テキストによる学習終了後、研修成果のレポート提出
⑤さらに单元ごとに論文を書き、提出することで
2単位取得(受講料別途)全8回の提出で
2単位×8回→計16単位取得

履修証明 ①～④の全課程をクリアすると「履修認定証」を交付

認定単位

薬剤師認定制度認証機構G16
(取得した単位は、認定薬剤師申請に使用できます。)

取得単位

通信教育講座	G16日本女性薬剤師会	15単位
自己研修講座	G16日本女性薬剤師会	5単位
論文入門研修講座	G16日本女性薬剤師会	2単位

(各回受講料別途)

後援

公益社団法人日本薬剤師会

お問い合わせ

一般社団法人日本女性薬剤師会 事務局
〒130-0012 東京都墨田区太平3-1-1 坂部ビル2階
TEL.03-3621-0489
FAX.03-3621-0521
E-mail: jwpa@khh.biglobe.ne.jp